

[ 横浜市民ギャラリーあざみ野 ]  
平成 22 年度業務計画及び収支予算  
[ 公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団 ]

文中の事業欄において、  
：主催事業。：共催事業  
を示します。  
文中の達成指標欄において、  
：定量的指標。：定性的指標  
を示します。

### 1 施設の概要

施設名	横浜市民ギャラリーあざみ野
所在地	青葉区あざみ野南一丁目 17 番地 3
構造・規模	鉄筋鉄骨コンクリート造地上 3 階・地下 1 階
敷地・延床面積	敷地面積 4,283 m <sup>2</sup> 延床面積 7,899 m <sup>2</sup> / 専有面積 1,975 m <sup>2</sup>
開館日	平成 17 年 10 月 29 日

### 2 指定管理者

法人名	公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団
所在地	横浜市中区北仲通四丁目 40 番地
代表者	理事長 澄川 喜一
設立年月日	平成 3 年 7 月 10 日
指定期間	平成 22 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日まで

### 3 指定管理に係る業務方針

#### (1) 基本的な方針

##### 使命

基本コンセプト「アートで元気になろう」

アートは、考えて行動するという能動的な営みの中から、はじめて生まれるものです。この能動的な営みというアートの要素は、まさに生活に欠かせられないものです。アートには市民が自らの生活を見つめ返し、より積極的に生きるためのツールとしての力があります。アートを楽しむことによって生活が生き生きとする、そのようなサイクルをつくり、「アートで元気になろう」というコンセプトの実現につなげてまいります。

また、アートはすべての人に開かれ、人と人をつなぐ力があります。それはまさに市民協働に必要な力だといえます。横浜市民ギャラリーあざみ野は、アートを積極的に

生活に取り入れこころ豊かに暮らす市民といっしょに地域に働きかけ、横浜を元気にすることを目指します。

基本方針 1 すべての市民に創造性のある活動を

だれもがやってみたくなるような事業を数多く行います。

はじめの1歩が、またしてみたいという思いにつながる運営をします。

基本方針 2 ネットワークで地域が広がる

いろいろな活動をしている人たちが知り合い、協力しあい、新しい活動が生まれる体制をつくりまします。

基本方針 3 すべての人を受け入れる

年齢、性別、人種、障がいの有無などすべての人に開かれた運営を男女共同参画センター横浜北（以下「センター横浜北」とする）とともに行います。

達成目標（5年間）

ア創造活動を市民協働で

- ・ あざみ野カレッジ「学生数」1,000名
- ・ アーティストサポート150人実施します。

イ地域とつながる

- ・ あざみ野メンバーズ 目標登録者数 10,000名
- ・ 街なかプロジェクト15事業実施します。

ウ施設の賑わい

- ・ 施設来館者目標150万人
- ・ アトリエ利用率70%

## (2) 22年度の位置づけ

事業の方針

第2期のテーマ「アートで元気になろう」の事業展開を本格的に開始します。

開館より、美術を中心とした芸術文化のすばらしさに触れることができる展覧会、ジャンルを超えた文化事業、市民がアーティストとともに美術作品の制作や直接表現活動を体験するアトリエ事業、市民や各種団体が行う活動に対する支援、センター横浜北との連携事業などを実施してきました。また、当ギャラリーに収蔵されている横浜市所蔵カメラ・写真コレクションの整理・保存、普及・公開事業も担ってきました。市当局のご指導、区役所や地域の方々、多様なアーティストに支えられ、また、センター横浜北と連携しながらこれらの事業に取り組むことで横浜市の地域文化振興に貢献してきたと自負しています。

第2期におきましても、第1期で評価をいただき定着している取り組み、今後も継続していくことで効果が期待できる取り組みについては継続発展させ、さらに、今後の横浜市創造都市づくり、地域コミュニティの活性化に向けた諸施設の動向、また、多様化する市民ニーズに的確に応える事業については新たに組み込んでいくことで、横浜市民ギャラリーあざみ野の更なる活性化を担っていきたいと考えています。

「連携」をキーワードとして、横浜美術館や横浜市民ギャラリー、BankARTStudioNYK

や横浜赤レンガ倉庫 1 号館などと連携し、進行形のアートシーンを市民に紹介します。「発信」をキーワードとして、写真とコンテンポラリーアートに特徴を見いだした展覧会を行います。また、新進のアーティストを送り出します。「参加」をキーワードとして、「やってみてわかる」という参加型事業をアトリエ事業だけではなく展覧会事業でも展開します。「協働」をキーワードとしてアーティストや市民、市民活動グループとの協働によるアートで元気になる活動を地域ぐるみで行います。

年間 4 本の企画展とアトリエ事業を中心に、市民活動支援事業として北部 4 区との共催事業、センター横浜北との共同事業や文化事業、地域や学校との連携を図るアウトリーチ事業を増やしていきます。5 年間でひとつの周期として捉え、第 1 期の事業の反省や検討に基づき、各事業内容や手法、期間などを改善あるいは拡大していきます。

事業の企画実施にあたっては、アートサポーターによる市民参加を得て、更に踏み込んだ市民協働を図ります。また、昨年に引き続き地域連携を図る市民協働事業として、街づくりアートを充実させます。

#### 運営の方針

運営については、「市民が主体」のモットーをより具体化し、市民参画の機会を増やし、アートサポーターとして運営に参加できる協働事業を増やしていきます。

2007 年度から実施している ARAP（アート・ルート・あざみ野・プロジェクト）を拡大し市民協働推進事業“街なかアートプロジェクト”でより一層の街づくりアートに取り組みます。今後の指定管理期間に市民がプロデュースする地域事業を固め、今後とも活動が継続していくようにネットワーク作りをより進めていきます。

#### ア 市民主体

「市民のための施設」であることのますますの周知と市民がより使いやすい柔軟な運営をします。

#### イ 交流

他の文化施設などとのネットワークをつくり、情報の共有をはかります。

それらを市民に提供するシステムをつくります。

#### ウ 市民参加

市民が「アートサポーター」として運営に参加できる仕組みをつくります。また、利用者の声を積極的に進め、運営改善に取り入れます。

#### 管理の方針

#### ア 安全 安心 清潔

バリアフリーやセキュリティなど、利用者の居心地のよい施設運営をアトリエや展示室だけでなく施設全体で行います。

#### イ 利用者の目線で

利用者の希望を受け止め、発表の成果が最大限発揮できるよう専門的なサポートを行います。

#### ウ 寄り道のすすめ

必要な用事だけすませて帰るのではなく、利用者に鑑賞ができる、本が借りられる、おしゃべりができるなど、寄り道をおすすめします。

#### 4 事業に関する業務計画

##### (1) 文化芸術に直接出会える場について

<p>[業務内容]</p> <p>展覧会事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6月は「横浜 W0 発掘 suru 展」を横浜の優れた人材や芸術文化資源を発掘し、横浜の地場にこだわった展覧会を行います。第1回目となる今回は小金町で活動する若きアーティストたちにスポットを当てて紹介します。</li> <li>・夏には「あざみ野こどもぎゃらりい」を展示室1と2、アトリエを使って展覧会と自由参加型のワークショップを2週間にわたって行います。</li> <li>・秋の展覧会では、横浜市所蔵カメラ・写真コレクション+企画展を開催します。関連文献や機器が10000件あり、それらを歴史や文化、風俗などを絡めた展覧会。</li> <li>・1月には「あざみ野コンテンポラリー」で、さまざまなアーティストが、現在行っている表現活動に目を向けた展覧会を行います。多くのサポーターと協働で企画運営します。</li> </ul>	<p>[達成指標]</p> <p>満足度調査を実施し、“大変良かった”が95%以上。</p> <p>展覧会を4回実施し、関連事業を含め企画展全体で入場者数12,000人以上を目指します。また、市民の幅広い関心に答える様々なテーマの企画展を実施します。</p>
---	---

##### (2) 市民やアーティストの創造活動の支援の場について

<p>[業務内容]</p> <p>市民のためのワークショップ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「アートABC」技術や材料、また道具や機材の扱いについての基礎基本の習得を目的とした講座を行います。</li> <li>・「アーティストから学ぶ」アーティストから独自の表現についてレ</li> </ul>	<p>[達成指標]</p> <p>満足度調査を実施し“大変良かった”が95%以上</p> <p>あざみ野メンバーズ目標登録者数5年間で10,000名とします。(22年度は2,000名)</p> <p>あざみ野カレッジは、5年間で学生数1,000名を目指します。(22年度は200名)</p>
---	---

<p>クチャーを受け、ワークショップを通して体験し、それらを自らの表現に生かす講座を行います。</p> <p>ショーケースギャラリー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホワイエにカメラ・写真コレクションや、アーティストの小品展を見てもらう展示ケースを設置します。</li> </ul> <p>あざみ野カレッジ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・知っている人を&lt;先生&gt;に、知りたいことを&lt;授業&gt;にする学校を市民協働で運営します。</li> </ul> <p>アーティスト今年の顔</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・紹介する新進アーティストは「今年の顔」として、展覧会にいたるまでの節目ごとにサポーターよりレポートされます。展覧会の運営に市民に関わって支援してもらう仕組みをつくります。</li> </ul> <p>あざみ野メンバーズ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メールマガジン登録者を指します。メールマガジンは館の催し物の案内を中心に情報発信するほか、ボランティア活動や市民参加の運営会議の情報など、連絡体制づくりを目的とします。</li> </ul> <p>あざみ野アートネットワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページを活用し、文化芸術施設やアートサイト事業などとリンクし、横浜のアート情報にアプローチしやすい体制をつくります。窓口での広報協力を積極的に行います。</li> </ul>	
--	--

(3) 次代を担う子どもの創造性教育の場について

<p>[業務内容]</p> <p>子どものためのプログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「わくわくワークショップ土曜講座 日曜講座」</li> <li>幼児と児童を対象にしたワークシ</li> </ul>	<p>[達成指標]</p> <p>満足度調査を実施し「大変良かった」が95%以上アウトリーチを年間5回実施します。</p>
--	---

<p>ヨップを土曜・日曜に開催します。</p> <p>親子で造形ピクニック</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別支援学級や特別支援学校に通う親子を対象に自分の好きな素材で造形を楽しむワークショップを開催します。</li> </ul> <p>子どものためのプログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「親子のフリーゾーン」</li> </ul> <p>粘土、紙、えのぐで遊べる活動で月3回程度通年で開催します。</p> <p>クリスマスジュニアコーラス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元の小学生たちによる、クリスマスコーラス。最終日にはロビーコンサートに出演します。</li> </ul> <p>学校のための鑑賞プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鑑賞事業として、展覧会を活用してもらうための連携事業を開催します。</li> </ul> <p>教師のためのワークショップ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校の先生を対象に鑑賞・実技のワークショップを開催します。</li> </ul> <p>ティーチャーズあざみ野プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学、高校美術の先生とのプロジェクトをつくり、市民ギャラリーあざみ野の事業に参加を促します。</li> </ul> <p>アウトリーチ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「横浜市芸術文化教育プログラム」に「コンテンポラリーアートを楽しもう」というプログラムで参加します。</li> </ul>	
---	--

(4) 創造活動と社会、市民活動を結びつける場について

<p>[業務内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サポートコーディネイトをします。</li> <li>北部4区美術公募展</li> <li>・実行委員会の共催で開催します。</li> </ul>	<p>[達成指標]</p> <p>満足度調査を実施し“大変良かった”が95%以上</p> <p>公募展の拡がりや定着を反映し、展示室全面を利用して展覧会を開催します。応募総数250点以上をめざします。</p> <p>街なかアートプロジェクトは5年間で15事業実施しま</p>
--	---

<p>青葉区民芸術祭</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 絵画・書道・写真・茶道・文芸など、施設全体を市民交流の場とします。</li> </ul> <p>街なかアートプロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アート・ルート・あざみ野プロジェクトを発展させ、「元気な活力」で地域のさまざまな市民活動と結びつき、出張事業を行います。</li> </ul>	<p>す。(22年度は3事業)</p>
---	---------------------

(5) 創造活動を介した人々の関わり合いの場について

<p>[業務内容]</p> <p>アートカフェ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民とアーティストが知り合う「アートカフェ」を春・夏・秋に開催します。新しいグループや活動が生まれるネットワークの場をつくります。</li> </ul> <p>アートワゴン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アーティストやハンディキャップの人たちのアート作品を販売するワゴンショップを、市民協働で運営します。</li> </ul> <p>あざみ野ナイト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建物の壁面や窓ガラスを使って映像作品を映し出すイベントを行います。</li> </ul> <p>アートガーデン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 館の前庭(アートプラザ)に子どもが楽しめるアートな遊具をつくります。</li> </ul> <p>エイブルアートギャラリー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特別支援学校や作業所に呼びかけて、今年度は2組の展示を行います。</li> </ul>	<p>[達成指標]</p> <p>満足度調査を実施し“大変良かった”が95%以上新しいグループや活動が生まれるネットワークの場をつくります。</p> <p>他の文化施設などとのネットワークをつくり、情報の共有を図りそれらを市民に提供するシステムをつくります。</p>
--	---

## 5 施設の運営に関する業務計画

### (1) 人員配置について

項目	人数	備考
館長	1人	課長級
副館長	1人	係長級
職員	6人	
アルバイト	2人	

### (2) 勤務体制について

基本（職員）：早番（8：45～17：30）2名、遅番（12：30～21：15）2名

（副館長、職員およびアルバイト計9名によるローテーション制）

### (3) 市民の利用を促進することについて

<p>[業務内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施設の提供については、新規の利用者の開拓にさらに努めます。</li> <li>夜間利用促進キャンペーン2010題して、アトリエの平日夜間料金を1年間半額とし利用促進を図ります。</li> <li>利用者の意図が最大限発揮できるよう具体的なアドバイスやお手伝いをします。</li> <li>利用団体登録を引き続き原則としデータ化していきます。</li> <li>貸し出しマニュアルの整備等実施します。</li> </ul>	<p>[達成指標]</p> <p>アンケートの集計による利用者の満足度（大変良かった・良かった）が95%以上を目指します。</p> <p>開館日数・時間について 347日 9：00～21：00 （休館日：月1回の施設点検日、年末年始休館6日）</p> <p>目標利用率 展示室：95% アトリエ：5年間で70%（22年度は60%） よりよい施設として利用者懇談会を実施しご意見を伺っていきます。改善等は速やかに実施いたします。 貸し出しシステムの安定的運用を図ります。</p>
---	--

### (4) 施設運営における市民参画を促進することについて

<p>[業務内容]</p> <p>アートサポーター登録制度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「アーティストサポーター」</li> </ul> <p>&lt;あざみ野コンテンポラリー&gt;は市民協働で行う展覧会で、他の展覧会の調査やアーティストの発掘をするボランティア。2月の展覧会に至るまで、その間の広報やブログを担当する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「ワークショップサポーター」</li> </ul>	<p>[達成指標]</p> <p>アーティストサポーターは5年間で150名登録を目指します。（22年度は30名）</p> <p>アーティストサポーターが横浜トリエンナーレでも活躍できることを目指します。</p>
---	---



<p>あざみ野の展覧会はアーティストトークやワークショップなど、市民参加型で行う。その際、補助的な役割を担う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「編集サポーター」</li> </ul> <p>季刊誌「<b>アートあざみの</b>」の編集に関わり、展覧会やワークショップの記事を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「運営サポーター」</li> </ul> <p>&lt;あざみ野カレッジ&gt;の企画運営ボランティア。</p>	
--	--

(5) 積極的な広報を展開するについて

<p>[業務内容]</p> <p>的確な広報展開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ネット広報事業の「あざみ野メンバーズ/あざみ野ネットワーク」</li> </ul> <p>&lt;あざみ野メンバーズは、メールマガジン登録者&gt;</p> <p>&lt;あざみ野ネットワークはホームページを通じた対施設の情報共有システムの事&gt;</p> <p>H22 年度にはメーリングリストが稼働できるようにします。あざみ野駅周辺、東急田園都市線沿線などへの広報拡大を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「アートあざみの」は、貸館利用者の情報のほか、当館開催事業のPRのために活用。カメラコレクションの紹介ページや、市民レポーターによる記事掲載、地域のアート情報など、市民がアートと関わる「窓口」となるような媒体とします。また、HP やメーリングリストとの連携を図りながら、タイミングの良い情報提供を行うことで、新規来館者とリピーターの獲得を目指します。</li> </ul>	<p>[達成指標]</p> <p>ホームページアクセス件数が年間5万件を目指します。サポーターの広報への関わりが拡大します。</p> <p>あざみ野メンバーズ、目標登録者数5年間で10,000名とします。(22年度は2,000名)</p>
---	---

(6) 市民ニーズ、市民満足度等の把握と対応について

<p>[業務内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者への顧客満足度調査を引き続き実施します。事業ごと、利用室ごとなどの統計を分析し管理運営に反映していきます。</li> <li>・利用者、並びに事業アンケートを実施します。</li> <li>・利用者懇談会を開催し運営に反映します。</li> </ul>	<p>[達成指標]</p> <p>利用者サービスの向上を図るため、クレームやご意見について職員の情報共有や改善検討の場をより頻繁に実施します。</p>
---	---

(7) カメラ・写真コレクションの適切な収蔵、保管、調査、研究、発表、活用、展示について

<p>[業務内容]</p> <p>収蔵庫管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・収蔵庫内の温湿度管理</li> <li>・収蔵庫内の環境衛生管理</li> <li>・空気環境管理機器類の保守点検</li> <li>・ケミカルフィルターの交換</li> <li>・文化財喰害虫生息調査</li> </ul> <p>管理・保存</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料の映像記録化</li> <li>・データベースへの入力作業</li> <li>・資料カード・図書カードの作成・</li> <li>・台帳による管理</li> <li>・収蔵環境の適正化</li> </ul> <p>調査・研究・発表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主要な機関と連携して調査研究を進めていきます。</li> <li>・資料を活用した講座を開きます。</li> <li>・カメラ資料のカタログを発行します。</li> <li>・コレクションを種別にホームページ上で公開します。</li> <li>・ロビーでの小展示を年4回行います。</li> </ul> <p>活用（貸出・熟覧）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・貸出については、柔軟に対応しますが、コレクションのコンディション維持等に十分に配慮します。</li> </ul>	<p>[達成指標]</p> <p>修復の必要性について、ランクをつけ予算の範囲内で重要資料を優先して専門家に委託します。</p> <p>写真のあるべき姿を今一度検証します。</p> <p>熟覧については、どなたでもできうる限り応えていきます。（料金については横浜市と調整）</p> <p>資料の技法ごとに年間の累積照度値を決め、その範囲内で展示、貸出を行います。</p> <p>年間を通じて温度は <math>20 \pm 2</math>、湿度 <math>50\% \pm 2\%</math> としています。管理については、24時間温湿度・空気集中システムと、3基の自記式温湿度記録計にて常時監視し、管理は電気式パッケージエアコンで行っています。また、pH値を定期的に測定し、測定結果に応じたケミカルフィルターを設置しています。</p> <p>管理・保存についての協力機関は、必要に応じて東京都写真美術館、日本カメラ博物館、横浜美術館などの専門機関の協力をあおいでいきたいと考えています。</p> <p>講座での資料活用基準、講師については内部の専門職によって実施するほか、外部の専門家を講師として招いて行います。</p> <p>ロビー展示については、温度強化ガラス製・鍵付で、紫外線吸収フィルムを貼った専門の展示台を使用し、内部には湿度50%を保てるように調湿剤を設置します。</p>
--	--

<ul style="list-style-type: none"> <li>・熟覧については、専門家立会いに供します。</li> </ul>	
---	--

## 6 施設の管理に関する業務計画

### (1) 市民ギャラリーあざみ野占有部分における建物・設備・備品の適切な保守管理及び予防保全

<p>[業務内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建物や設備の保守管理を確実にを行い、故障などの予防・保全に努め、修繕等には迅速な対応を心がけます。</li> <li>・駐車場については、管理会社と密接な情報交換を実施し、安全に管理します。</li> <li>・展示室の壁面の補修など、良好な状態を保つよう予防保全に努めます。</li> <li>・建物全体全体の環境維持については清掃や保安、施設保全については、常に良好な環境を整えセンター横浜北と効率的な維持管理費の節減に努めます。</li> <li>・展示室の空気調和、空気環境については経過観測を実施します。範囲で専門家に委託します。</li> <li>・利用後の点検を確実にし、清掃はこまめにゴミを捨てるなど常に良好な環境を整えます。</li> </ul>	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>年間無事故を目指します。</li> <li>修繕等には迅速に対応します。</li> <li>施設の安定的な利用のために、不具合の早期対応などによる予防保存の取組みを行います。</li> <li>クレームの無い、快適な環境維持を目指します。</li> <li>清掃、植樹、空調などについて施設の環境維持管理を適切に行います。</li> </ul>
--	---

### (2) 環境問題への配慮について

<p>[業務内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員や利用者の廃棄物については、適切な管理、搬出を行います。</li> <li>・クレームの無い、快適な環境維持を目指します。</li> <li>・ゴミに種類や分量の統計を集積し、ゴミの削減に努めます。</li> <li>・電気使用料の削減に努めます。</li> </ul>	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>常にゴミの削減、分別に努めます。</li> <li>利用者にはゴミの持ち帰りの原則を徹底し、無理な場合はゴミ袋を有料で販売します。</li> <li>利用者に不便かけないように、不必要な電気は消すよう努めます。</li> </ul>
---	---

## 7 収支について

### (1) コスト削減への努力について

[業務内容] ・入札等適正な予算執行や業務の見直しによる節減に努めます。	[達成指標] 適切な執行と業務の見直しによりコスト削減を進めます。
---	--------------------------------------

### (2) 収入向上及び外部資金導入の努力について

[業務内容] ・自主事業等において、助成金・協賛金を獲得します。	[達成指標] 助成金申請：昨年同様2件申請 協賛金・広告収入の獲得
-------------------------------------	---

### (3) 収支予算額について

収支予算書

(単位：円)

項目	予算額	備考
収入		
指定管理料収入	164,200,000	協議の結果に基づく
利用料金収入	12,000,000	5(3)にもとづき算出
事業収入	3,700,000	4に基づき実施することによる収入
その他収入	600,000	助成金・協賛金収入等
合計	180,500,000	

支出		
人件費	72,212,000	5(1)に基づき配置
管理費	63,914,000	6に基づき実施
光熱水費	15,360,000	
委託費	47,454,000	
修繕費	1,000,000	
受託財産購入	100,000	
事業費	34,500,000	4に基づき実施
事務費	9,874,000	消耗品費、租税公課等
合計	180,500,000	

収支計	0	
-----	---	--

#### 《収入について》

利用料収入については、アトリエの夜間利用割引を実施することにより、昨年度実績より収入が低下しています。

入場料収入・受講料収入については、事業内容の充実を図り増収を目指します。

助成金については積極的に取り組んでいきます。

協賛金や広告収入の獲得にも努力します。

#### 《支出について》

増収分についてはアウトリーチ事業や市民協働事業、広報費に充当していきます。

複合施設として一括購入や共同広報に努め、事業費の削減に努力します。

入札により管理費の削減に努めます。

## 8 その他目標

### (1) 危機管理対策の充実について

<p>[業務内容]</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・合同防災訓練を年間2回実施します。危機の際には全員が一致して取り組みます。</li></ul>	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"><li>危機の未然防止に努めます。</li><li>危機管理マニュアル等を充実し、非常時の運用を図ります。</li></ul>
--	---

### (2) 保険及び損害賠償の適切な取り扱い、個人情報の保護への適切な措置、情報公開への積極的取り組みについて

<p>[業務内容]</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ホームページを活用し、横浜市とも調整の上必要な情報を開示します。</li><li>・個人情報保護についての研修を実施し、常に注意を怠らないよう職員の意識を高めます。</li><li>・市の所管部局とは月次報告のほか情報の交換を欠かさず連絡調整を図ります。</li><li>・22年度も引き続き賠償責任保険、レジャーサービス保険、動産保険に加入し、事故の発生に備えます。</li></ul>	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・職員の個人情報管理研修を実施します。</li><li>・ホームページに情報を速やかに公開します。</li></ul>
---	---

### (3) 男女共同参画センター横浜北との連携について

<p>[業務内容]</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・事業面では、共同事業の回数だけでなく、企画内容を調整し一体となって取り組みます。合同での企画研修を実施し、プロジェクトを組んで共同事業や広報に取り組みます。</li><li>・運営面では、毎週定例の打ち合わせ他、月1回の合同職員会議を</li></ul>	<p>[達成指標]</p> <p>「アートフォーラムあざみ野」が横浜市内及び近隣地域に周知され、複合施設としてのメリットを生かしつつ、地域に根ざした良好な施設運営と特色ある事業展開を図り、男女共同参画推進と芸術文化振興というお互いのミッションがともに達成されることを目標とします。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>月1回合同ミーティングを実施します。</li><li>毎週火曜日に管理ミーティングを実施します。</li></ul>
--	---

<p>開催し、全職員で情報や意見の交換をし、「アートフォーラムあざみ野」の施設職員としての意識を高め、運営に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・維持管理面では、毎週の管理運営打ち合わせ、毎月の合同管理会議などを欠かさず実施し、施設全体の管理運営の改善に共同で取り組みます。</li> <li>・委託会社にもそれぞれの財団のミッションや役割、事業内容、利用者の特性などについて研修などを通して丁寧に伝えていきます。</li> <li>・アートフォーラムあざみ野全体としての広報、施設や施設外の環境整備に対して引き続き協力して取り組みます。</li> </ul>	
---	--

(4) 横浜アーティストデータベースの構築と運用について

<p>[業務内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・横浜におけるコンテンポラリーアートの展開と発展のために実施します。</li> </ul>	<p>[達成指標]</p> <p>アーティストや作品のアーカイブや共有化を図ります。当財団が運営するアーツコミッション横浜に情報をデータベースとして一元化します。</p> <p>新進アーティストを継続して支援していくことを重要なミッションとして位置づけており、積極的に取り組んでいきます。</p>
--	--

【別紙 1】

自主事業一覧

No	実施時期	事業タイトル	会場	事業内容	入場見込	事業費
1	6月24日 7月4日	横浜 wo 発掘 suru 展	展示室 2 アトリエ	横浜の優れた人材、 芸術文化資源を発掘 し、横浜の地場にこ だわった展覧会	1,500	3,412,000
2	8月18日 8月29日	あざみ野こどもぎゃ らりい	展示室 1・2 アトリエ	小学生までが楽しめる 内容にすると同時に、 ボランティアによる鑑賞 ツアーやアーティストと一 緒につくるワークショップ など	4,500	3,618,200
3	10月18日 11月8日	横浜市所蔵カメラ・ 写真コレクション+ 写真展	展示室 1・2 アトリエ	歴史や文化、風俗など を絡めたさまざまな切 り口で紹介する展覧会	3,000	6,265,000
4	1月28日 2月20日	あざみ野コンテン ポラリー	展示室 1 又 は 2 アトリエ	美術という枠にも社会 評価にも捕われず、さ まざまなアーティスト が、現在行っている表 現活動に目を向けた展 覧会。4月より市民参 加サポーターとの協働 により作家選定	1,500	4,592,000
5	4月~3月	子どものアトリエ フレンズ「親子の フリーゾーン」	アトリエ	保護者と子どもが自 由に、粘土、絵の具、 紙工作による造形遊 びを楽しむ時間	7,000	910,000
6	4月~3月	子どものためのプロ グラム わくわくワークシ ョップ 親子で造形ピクニ ック	アトリエ	土曜、日曜講座 子どもを対象とした 美術系のワークショ ップ 支援学級や 特別支援学校に通う 親子を対象に自分の 好きな素材で造形を 楽しむ	延 400	1,400,000

7	4月~3月	市民のためのワークショップ アートABC アーティストから学ぶ コレクションから学ぶ(写真学)	アトリエ	技術や材料、また道具や機材の扱いについての基礎基本の習得を目的とした講座 アーティストから独自の表現についてレクチャーを受け、自らの表現に生かす講座	140	1,417,000
8	4月~3月	市民協働事業 あざみ野カレッジ アーティスト「今年の顔」 街なかアートプロジェクト	アトリエ	4月事務局立上げ5月から学生募集、7月までに授業内容を決定し9月に開校 4月にアートサポーターを募り5月中は週1回のミーティング6月までにアーティスト絞込み、決定後2011年1月の展覧会までの間、アーティストレポートをウェブ上で掲載 4月にアートサポーターを募り5月6月はアート屋台の制作と活動内容の検討7月から広報開始、応募者を対象に年間の出前計画作成	200 30 3事業	2,250,000
9	4月~3月	市民協働事業 男女共同参画センター横浜北 共同事業 アートカフェ アートワゴン ショーケースギ	エントランスロビー アートブラザ	夏のアートカフェ7月、秋11月、春3月 4月運営サポーター募集5月出店アーティストの募集、作業所の話し合い7月出店、		1,106,400



		<p>ギャラリー あざみ野ナイト エイブルアート ギャラリー アートガーデン</p>		<p>毎月第 2 日曜開催 予定 インターネ ットでの募集に応 募してきたアーテ ィスト、アートサ ポーターが発掘し てきたアーティスト により年間展示 計画を立て 8 月ス タート アートフ ォーラムフェステ ィバルのイベント として実施 特別 支援学校や作業所 に呼びかけて、ア ートが好きな人の 作品を 1 ヶ月ごと に展示 4 月から アートガーディ アンをサポーターと 組織「あざみ野の 野草」をテーマに 子どもが遊べる庭 をアーティストと サポーターで作 ります</p>		
10	4月~3月	<p>学校連携事業 教師のための ワークショップ ティーチャー ズあざみ野プロ ジェクト アウトリーチ 7回</p>	アトリエ	<p>図工研究会及び 美術研究会と連携 して小学校・中学 校の先生を対象に 鑑賞や実技につ いてのワークショ ップ開催、夏の研 修 2 日 中学校・高 校美術研究会と 連携して 5 月に 連絡会開催プロ ジェクト立上げ 「横浜市教育文 化事業」との連 携で事業を行</p>	22 7校	600,000

				い、企画展とも連動させ、学校からアートフォーラムあざみ野への呼び込み効果もねらいます		
11	4月~3月	ネット広報事業 あざみ野メンバーズ/あざみ野ネットワーク	アトリエ	ホームページを活用し、文化芸術施設やアートサイト事業などとリンクし、横浜のアート情報にアプローチしやすい体制を作ります		549,800
12	4月~3月	センター横浜北共同事業 アートフォーラムフェスティバル	アトリエ レクチャールーム ほか	アートフォーラムあざみ野の開館を記念して毎年10月に全館あげて実施	4,500	560,000
13	4月~3月	センター横浜共同事業 Welcome ロビーコンサート(Ws含む)	エントランス ロビー	市民広間演奏会の演奏を中心にジュニアコーラスやジャズねクラシックなど楽しんでいただいています	2,900	565,400
14	4月~3月	センター横浜北共同事業 「あざみ野サロン」	レクチャールーム	(1) 194 席を会場に講演会やイベントを 6 回ほど開催します。市民の周知と夜間のにぎわいをつくり出します。	440 (3公演)	2,326,000
15	8月 1月	こころと体を考えるワークショップ	アトリエ	素材、身体、音、リズムなどをテーマにした講座	20	250,200

16	4月~3月	横浜市所蔵カメラ・写真コレクション 保存 活用	エントランスロビー 収蔵庫	データベースの入力作業 資料の映像記録化 「貸出」コレクションの魅力を広く紹介するため、貸出の要望は柔軟に対応、「熟覧」専門家立会いに熟覧します。		2,478,000
17	4月~3月	情報紙「アートあざみの」HP による情報提供		貸館の展覧会情報やアトリエ講座などのほか、当館開催事業のPRのため活用		2,200,000